



Ten colors ～自分色～

令和6年12月3日 発行 NO.8

認定こども園にちなん十色

TEL (0859) -82-0626 FAX (0859) -82-0520

Mail address s 0310@town.nichinan.lg.jp



表現するって楽しいな！

12月は、発表会（わくわく十色）があります。たくさんの皆様のお越しをお待ちしております。

小中学校の発表会（文化祭）を見に行きました。小学生は、タブレット等利用して日頃の学習を自分達で構成し、主体的に表現する姿が印象的でした。中学生は、仲間と表現する喜びが達成感に繋がっていると感じ、私も一緒に感動しました。

小中学生の姿から、こども園の表現する目標は「やってみて楽しかったことを自分の言葉で伝える」ことであり、「楽しい」がキーワードになります。本番だけでなく、練習の中で「表現することは楽しい」と感じる経験をたくさんしていきたいと思います。当日は、練習の姿を想像しながら応援をお願いいたします。

園長 長谷部 弥生

続「見守ること」～21世紀型保育のススメ 藤森平司 著～

～新宿せいがこども園 藤森園長の著書からどのように見守っていけばいいか「続編」を紹介します～

4. 子どもが誰かとトラブルを起こしたときには、自分の子だけを正当化しないで、冷静に判断しましょう。
5. 子どもは何かものを与えれば喜ぶのではなく、気持ちをはっきりとわかってもらうことを望んでいます。
6. 子どもは自分のために親が犠牲になることを望むのではなく、子どもから望んだ時に、自分が優先順位が高いことを望みます。
7. 子どもが自分でできることや、自分でやろうとすることを手伝うことは、子どもにとっては迷惑です。

【こども園あり方検討会について】

第3回子ども園あり方検討会が11月18日（月）に開催されました。委員の皆様、お世話になりました。3回目が最終の検討会となり、1月には、子ども園のよりよいあり方についての「答申」が出されます。答申が出ましたら、皆様に共有させていただきます。



共育（ともいく）コーナー

絶対解 から 納得解 へ

私たちは今、目まぐるしく変化し続ける社会の中で生きています。今まで正しいと思っていた「絶対解」は、通用しない時代とも言えます。そして最近よく耳にする言葉の中に、「納得解」があります。新しい学習指導要領の中にも、「納得解」を求める能力を、個々が養う必要性がはっきりと示されています。

一人ひとりの幸せや価値観も異なる、正解のないこれからの時代では、一部の人間だけではなく、全員が考え悩み、「納得解」を生み出していくしかない…と言われています。

一人ひとりの持ち味は違って当然です。その持ち味を足し算ではなく、掛け合わせることで未知の力を発揮できると信じています。にちなん十色の理念にある、【共存共栄】とは正に、このことを言っているのです。

この理念に向かって、目の前の子どもたちをしっかりと“見守れる”ように理解し、適切な援助ができる園、地域、保護者といった大人集団と一緒に生きていきましょう。

次回は、『手当て』についてです。

文責 福岡 裕